

# 令和6年度学校経営基本計画

一関市立巖美中学校

## I 基本理念

次代を担う生徒の教育が重要なことは論を待たない。教育の目的は、教育基本法第1条で「教育は、人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」と示されており、我々はまずもってその崇高な職務に就いていることを、深く理解しなければならない。

また、教育において育てるべき力は、社会の中でたくましく生きていく力、すなわち「生きる力」であること、また、学校教育の役割は、知・徳・体を総合的に備えた「人間形成」そのものであることを再認識し、目標達成型の学校経営への改革を推進して、一人一人の生徒へ基礎・基本の確実な定着や豊かな心を育む教育、体力の向上などを目指し、学校教育の充実を図る必要がある。

さらに、教育は「信頼」なくしては成り立たない。教師と生徒、生徒と生徒、教師と保護者が信頼し合い地域の協力も得るといふ関係を築くことが必要であり、「まなびフェスト」への理解を得ながらその達成に向けた互いの取り組みをすることで、信頼感を醸成しつつ教育目標に近づくことが可能になると考える。また、教育実践の結実を「学校評価表」によって理解するとともに、そこから課題を見つけて改善につなげる努力及び保護者アンケートの公開によることで信頼につながると考える。

## II 学校教育目標

- 理想に燃え、たくましい生徒
- よく学び、よく考える生徒
- 明るく、心豊かな生徒

## III 経営方針

教育の公共性と教育者としての使命感、専門性を自覚し、誠意と責任を持って学校教育目標の実現をめざし、課題解決のため創意と活力に満ちた学校経営を推進する。

- 1 「学力（知育）」「心（徳育）」「健康・体力（体育）」を指導の中心課題とする。
- 2 職員一人一人が自己の役割と責任を明確にし、全職員の共通理解を図りながら推進する。
- 3 学校・家庭・地域のより良い連携を図り、望ましい教育環境や教育活動の充実を努める。
- 4 岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災津波を風化させることなく、自らの在り方、生き方を考えさせるための復興教育を推進する。

### (1) めざす生徒像

理想に燃え、仲間と共に励ましあい、自己を磨く生徒

### (2) めざす学校像

- ① 気力と実力の伴う学校
  - ア 活力と成就感のある授業
  - イ 基礎的・基本的事項の定着
  - ウ 躍動する体育活動
- ② 豊かな文化と潤いのある学校
  - ア 美しい歌声や花、温かさのある校舎
  - イ 共に汗を流し、喜びを分かち合える友
  - ウ すすがしい姿と清潔な環境
- ③ 秩序とリズムある学校
  - ア 命と人権を守り、自律ある生活
  - イ 適切な判断力と価値観を持つ生徒
  - ウ 静と動の切り替えができる生徒
- ④ 開かれた学校
  - ア まなびフェストによる学校・生徒・保護者・地域の連携
  - イ **学校運営支援協議会の立ち上げ**

### (3) めざす教師像

- ① 和をつくる教師
  - ア 共通理解、共通行動のできる教師
  - イ コミュニケーションを大切にする教師
- ② 保護者・地域と協調を図り、信頼される教師
  - ア 保護者と一緒に歩む教師
  - イ 進んで地域に出向く教師
  - ウ コンプライアンス（法令遵守）の意識が高い教師
- ③ 豊かな力のある教師
  - ア 授業力のある教師
  - イ 生徒を組織立てられる教師
  - ウ 専門性が豊かで、創造性に富む教師
- ④ 温かさと厳しさがある教師
  - ア 生徒と共に活動する教師
  - イ 心から生徒をほめることのできる教師
  - ウ 生徒の望ましくない行為を見過ごさない教師

## IV 本年度の重点

### 1 心身共に健康な生徒の育成

生徒と教師、生徒相互の望ましい人間関係を育てるとともに、生徒が自主的に判断・行動し、積極的に自己を生かしていくことができる力を、実践活動を通して育成する。

- (1) 基本的な生活規律の育成
- (2) 創意に満ちた生徒活動の実践
- (3) 鶏舞の継承活動と「ふるさと隊」の推進
- (4) 進路目的意識の高揚
- (5) 各種行事や道徳教育などを通じての自他の敬愛の育成、教科「道徳」の実施
- (6) いじめのない学校づくりの推進
- (7) 礼節を基盤とした部活動の推進
- (8) 掲示物や教室の整理・整頓等学習環境の美化

### 2 確かな学力の定着

進んで学ぶ意欲を育てる生き生きとした授業の創造を図る。

- (1) 基本的な学習規律の育成
- (2) 授業力の向上と個に応じた指導の充実
- (3) 新学習指導要領に基づく授業の実践及び評価
- (4) 家庭学習の定着・充実
- (5) 朝読書の継続
- (6) 諸検査を有効活用した取り組みの実践
- (7) 陰山メソッドの導入とより効果的な指導法の工夫
- (8) GIGA スクール構想への対応、ICT を中心とした教育環境の整備、ICT教育の推進

### 3 復興教育の推進

岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災津波を風化させることなく、命を大切にして生き抜く力を育むとともに、自らの在り方、生き方を考えさせるための復興教育を推進する。

- (1) 命を大切にして、生き抜く力の育成
- (2) 人や地域との絆づくり（SDGsの視点含む）
- (3) 防災や安全への備え（岩手・宮城内陸地震防災学習会、復興講話）

### 4 特別支援教育の推進

特別な支援を必要としている生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その特性に応じた適切な支援を全教職員の共通理解のもと行う。

- (1) 特別支援会議の実施（月1回定例化）
- (2) 個別の指導計画や支援計画の作成とその活用
- (3) 特別支援教育に関わる校内研修の促進

(4) 全教職員の共通理解に基づく支援体制の構築

(5) 保護者、外部機関等との連携

### 5 開かれた学校づくり

(1) **学校運営支援協議会立ち上げ、継続的な小中連携（学期1回は交流を）**

(2) 教職員による自己評価、保護者や生徒等の学校関係者評価による学校運営の改善と充実

(3) 各種の行事、授業参観等の実施による学校訪問機会の拡大

(4) 外部講師の積極的活用と、地元企業や福祉施設などを活用しての体験活動の実施

(5) 校報等による積極的情報発信と地域行事やPTA行事を始めとして様々な機会を通しての情報発信

## V 本年度の重点（具体的な努力項目）

本年度の重点項目	重点項目における具体的な取り組み（努力内容）	主務者
1 心身共に健康な生徒の育成	○家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進	生指
	○ <b>ルールを決めてのスマホやSNS等の適切な利用の指導</b>	生指
	○生徒会を中心とした生活向上運動（生活時間・身だしなみ）	生徒会
	○生徒会を中心とした自主ランニングを取り入れた部活動への取り組み	部活動
	○生徒会を中心とした合唱への取り組み・合唱朝会の充実	音楽
	○鶏舞の継承（委員会を中心とした活動：練習計画、指導、道具の準備）	鶏舞
	○「ふるさと隊」の推進（生徒一人、年に2回以上の参加を目指す）	総務（鈴木・島山）
	○キャリア教育（5日間の社会体験学習等）の充実	キャリア
	○生徒指導の三機能（自己決定、所属感、有能感）を生かした行事の実施と道徳教育の充実	生指、道徳
	○いじめに「ノー」と言える集団づくり（いじめアンケートの実施と生徒の主体的な活動）	全員、生指
	○ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れた望ましい集団づくり	学年、生指
	○丁寧な言葉遣いと礼節の励行、指導者・周囲への挨拶、マナー	生指
○明るく清潔な環境（ゴミ拾い、落書き防止の習慣づけ、掲示物等による環境整備）	生指	
2 確かな学力の定着	○学習規律の徹底（挨拶、挙手、私語の禁止、ノート、提出物、課題への取り組み）	教務
	○生徒会を中心とした学力向上運動の展開（生活学習委員会活動）	生徒会
	○「学びのすすめ」を活用した学習ルールの確認	研究
	○分かりやすい授業の実施（構造的な板書、話し合い・言語活動等を取り入れた授業、テンポのよい授業）	研究
	○陰山メソッドの取組（モジュール化）	研究（石澤）
	○各種検定への受検の奨励（英語検定、漢字検定、数学検定等）	教科
	○家庭と連携した「ノーメディア期間」の実施	教務、副校長
	○朝読書の時間を確保し、望ましい読書習慣を身に着けさせる。	教務
	○学調や学習アンケートの結果を教科指導のサイクルに位置付ける	教務
○GIGAスクール構想への対応、ICTを中心とした教育環境の整備、ICT教育の推進	情報	
3 復興教育の推進	○「復興講話」「被災地訪問」を継続し、全教育活動を通して「命の大切さ」を育む	教務、学年
	○岩手・宮城内陸地震にちなんだ防災学習会を実施する	教務
	○福祉体験や資源回収等を通して、人と人との繋がり大切さを学ぶ（SDGsの視点含む）	生徒会、学年
	○ボランティア教育等を通して、他の人や地域社会に役立つ喜びを知る（SDGsの視点含む）	ボランティア
	○避難訓練や心肺蘇生法の学習を通して、防災・安全への意識を高める	総務、体育
4 特別支援教育の推進	○特別な支援を必要とする生徒一人一人の実態把握に努める（ <b>特別支援会議の定例化</b> ）	特支コーディネ
	○特性に応じた適切な支援及び支援体制の構築	特支コーディネ
	○特別支援教育のノウハウを生かした不登校傾向生徒への対応	特支コーディネ
5 開かれた学校づくりの推進	○ <b>学校運営支援協議会立ち上げ、継続的な小中連携</b> 、学級通信・校報等を通して情報発信に努める	総務、教務
	○各種の行事、授業参観等の実施による学校訪問機会の拡大を図る	総務
	○学力向上、生徒指導における厳美小学校との積極的な連携	総務、教務